

企業で求められる英語力とスピーキングテスト

避けられないグローバル化の波が日本に押し寄せ、実業界のキーワードが「グローバル人材の育成」となっている。企業では、どのような英語力のある人材を求めているのだろうか。

文科省をはじめ、現在日本の英語教育界は、「読む・書く・聞く・話す」の4技能の伸長、小学校への英語の授業導入など、英語教育の改革に取り組んでいる。しかし、大学入試問題は、約8割が読解・文法・語彙の「読む」技能に関するもの、2割ほどが「書く」技能、「聞く」技能は2%、スピーキングは0%。求められるのは大学入試改革。

OPIc (Oral Proficiency Interview-computer) をご存じだろうか。全米外国語教育協会ACTFLの公認評価者 (Certified Rater) と受験者の1対1のインタビューで英語のコミュニケーション能力を判定するOPIをPCベースに置き換え、受験者の利便性(場所、価格)を向上したスピーキング独立のテストである。所要時間は、オリエンテーション20分、テスト40分の合計1時間。テスト結果はACTFLの評価基準に基づいて公認評価者が7段階で評価。



大阪府高等学校英語教育研究会研究部会では、高校現場の課題であるスピーキング能力の向上と大学入試とについて考えるべく、OPIc について話を聞く機会を設ける。ゲストスピーカーは、NECのグローバル人材育成に係る八木智裕氏。

ゲストスピーカーによる講演とテストの簡易デモ

日時：平成26年7月4日(金) 15:00-17:00

(14:30 からは通常の部会)

場所：大阪市立東高等学校

タイトル：企業における英語コミュニケーションスキル
の実態とスキルアップの喫緊性

発表者：NECマネジメントパートナー株式会社

執行役員 八木 智裕 氏

概要：NECグループにおけるグローバル人材育成において基本スキルながら大きな課題となっている英語スピーキング能力の改善を図るべく、ACTFL英語スピーキングテストOPIcサービス提供に至った。OPIcの特徴紹介、企業・大学における適用結果の紹介を行うと 共に今後の方向性を提案する。

<http://www.neclearning.jp/opic/>



参加希望の方は z-mizohata@ohtori.osaka-c.ed.jp

まで 件名「スピーキング」で、ご所属 ご氏名 をお知らせください。

参加費は無料です。